

オンコロジーセンター

■下山 ライ 秋田大学

日本外科学会外科専門医,
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医,
検診マンモグラフィ読影認定医,
日本核医学会PET核医学認定医,
緩和ケア指導者研修修了,
インфекションコントロールドクター,
臨床研修指導医, 介護支援専門員

■田中 江里 浜松医科大学

副院長, 血液内科部長,
日本内科学会認定内科専門医,
日本血液学会認定医

■日下 剛 北海道大学

産婦人科部長,
日本産科婦人科学会専門医, 医学博士

■三浦 一郎 山梨医科大学

泌尿器科部長,
日本泌尿器科学会指導医, 日本透析医学会認定医

■吉澤 和希 山梨医科大学

リウマチ科部長
日本内科学会認定内科専門医,
日本リウマチ学会専門医, 日本東洋医学会専門医,
日本プライマリ・ケア学会専門医,
病理解剖資格医, リウマチ学, 東洋医学,
在宅診療

■五十嵐 桂子

看護師長, 緩和ケア認定看護師

■中崎 令子

看護師主任, がん支援相談員,
MLAリンパドレナージセラピスト

■岡本 明恵

看護師, MLAリンパドレナージセラピスト

■門谷 靖弘

副薬剤部長, がん薬物療法認定薬剤師,
がん支援相談員

■松本 準

心理臨床学会所属臨床心理士, がん支援相談員

■笹本 枝理

医療ソーシャルワーカー, がん支援相談員,
社会福祉士, 介護支援専門員

■武田 裕子

医事課主任,
国立がんセンター院内がん登録術武者研修修了,
メディカルクラーク,
ゲノムメディカルリサーチコーディネーター

はじめに

オンコロジーセンターは、がんに対する集学的治療から社会的・心理的サポートまですべてを行うことができるがん治療センターとして、2008年7月に発足しました。これまで各科別々に行われていたがん治療を集約化し、専門的知識を持ったスタッフが治療やケアを行うことでよりよい医療を提供することを目的にしています。

2010年9月に新病院に移転し、2Fにオンコロジーセンターとして腫瘍内科、腫瘍外科、血液内科の各外来と外来化学療法室が一体となったセンターが開設されました。また、がん支援相談室として看護師、薬剤師、メディカルソーシャルワーカー、事務職員ががん治療や緩和ケアだけでなく、経済的問題も含めたがん治療に関わる様々な問題の解決のお手伝いができるように体制を整えております。

がん患者さんが治療のために遠くの病院に通院することなく、自宅の近くで安心してがん治療ができるようにスタッフ一同努力してゆく所存です。また、がん難民という言葉とは無縁であるよう、困難な状

況であっても患者さんとともに考える，そういう心ある医療を提供していきたいと考えています。

診療内容

本館2階のオンコロジーセンター内に，腫瘍内科，腫瘍外科，血液内科の外来，および30床の外来化学療法室を持ち，月曜日から土曜日まで稼働しています。

対象疾患は小児がんを除いたすべての癌腫となっており，消化器癌（食道癌・胃癌・大腸癌・膵臓癌・胆道癌），肺癌（非小細胞肺癌・小細胞肺癌），乳癌，婦人科癌（卵巣癌・腹膜癌・子宮頸癌・子宮体癌），泌尿器癌（膀胱癌・前立腺癌），血液腫瘍（悪性リンパ腫・多発性骨髄腫），軟部肉腫、原発不明癌など外来化学療法を行っています。現在院内には治療レジメンとして250のレジメンが登録されています。（そのほか悪性腫瘍以外の疾患としてクローン病，リウマチに対する分子標的薬の投与も扱っています。）これらはすべて電子カルテ上に登録されており，体表面積や体重より自動的に投与量が設定され，支持療法もすべてレジメンにくみ込まれたかたちで処方されます。これにより，投与量・スケジュール・順序の間違いが限りなく少なくなり，医師毎の投与内容の差異もなくなったため，すべての患者様に安心して標準治療を受けていただくことができるようになりました。

現在各科から約15名の医師が治療に関わっており，通常は看護師3名，看護助手1名，薬剤師3名，医療事務1名，管理栄養士1名，臨床心理士1名とともに治療に当たっています。

そのほか，毎月Cancer Boardと呼ばれる当院のがん治療の方針を決定する会議を行っており，各科医師，薬剤師，看護師，医療事務，診療情報管理士などが参加しております。この中で，新規がん患者の登録，がん疑い患者の登録とフォロー，個別患者における

治療方針の検討，化学療法レジメンの検討と登録，外来化学療法室およびオンコロジーセンター全体の運営を検討しております。

また，オンコロジースクールとして院内の医療関係者向けに教育講演を行い，院内全体の診療技術の向上に努めています。

（このほか，悪性腫瘍以外の疾患として，クローン病，リウマチに対する分子標的薬の投与も扱っております。）

外来化学療法室

現在1ヶ月で約180から200件治療を行っております。疾患としては大腸癌が最も多く，そのほか乳癌膵癌，肺癌，悪性リンパ腫，多発性骨髄腫などの疾患が多くなっています。登録レジメンは徳洲会オンコロジーセンターにて決められたレジメンに則り整備していますが，定義されていない疾患や緩和的な化学療法（3次治療以降など）もあり，一部は院内のCancer Boardで検討の上院内レジメンとして登録して治療しております。処方箋は主治医から原則投与3日前までに行うこととし，薬剤師・医療事務・医師の3重のチェックを行い処方箋の誤りがないようにしています。当日は担当医の診察およびデータチェックの後，センター内の調剤室で薬剤師によるミキシングが行われ順次投与されます。副作用の対応や定期処方箋は主治医もしくは担当医が行うことにしています。

定例行事

以下の定例行事の企画と主催を行っております。

「Cancer Board（院内向け）」（月1回）

「緩和ケア委員会（院内向け）」（月1回）

「緩和ケアカンファレンス（院内向け）」（月2回）

「Open Oncology School（院内・地域の医療関係者向け）」（年2回，5月，11月）

「がん症例検討会と医療連携についての情報交換会（地域の医療関係者向け）」（年2回，7月，2月）

「緩和ケア研修会（院内・地域の医療関係者向け）」
（年2回，9月，3月）

「クリスマス会（患者さん向け）」（年1回，12月）

「オンコロジースクール（院内向け）」
（不定期 月1～2回）

臨床心理士

オンコロジーセンターでは，臨床心理士が気持ちの整理のお手伝いをしています．がん治療では，どのような方でも，経過の中で心が揺れ動く可能性があります．心理士は「困ったこと・心配なこと」を皆様と一緒に考えていきます．

リンパ浮腫ケア

乳癌，婦人科癌などの術後に生じるリンパ浮腫に対し，トレーニングを受けたオンコロジーセンターの看護師によるケア行っています．

【外来化学療法室】毎日

【血液内科外来】

毎週月（午前・午後），水（午前・午後），金（午後）

【腫瘍内科外来】毎週木（午前）

【腫瘍外科外来】毎週火（午後），土（午前）

■2013年の実績（2013.1.1～2013.12.31）

●第9回 がん症例検討会と医療連携についての情報交換会（2013.7.13）

●放射線腫瘍科：前立腺癌で紹介いただいた患者さんの診断／治療経過のご報告

●泌尿器科：当院における前立腺癌に対するロボット手術の実績

●第5回がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（2013.9.22～23）

2013年 業務統計（2,594件）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食道癌	1	1	1	1	1	2	1	1	3	4	4	3
胃癌	3	3	5	8	9	9	8	7	6	9	9	10
大腸癌	42	40	44	39	43	43	40	38	34	33	32	34
胆道・膵臓癌	14	8	5	1	1	3	4	6	7	8	9	8
乳癌	13	14	17	22	23	22	29	31	34	38	38	35
非小細胞肺癌	12	16	14	16	14	9	18	14	20	13	16	16
小細胞肺癌	7	7	7	4	6	5	4	5	3	3	2	2
胸腺癌	0	0	1	2	3	1	2	1	2	1	1	1
悪性中皮腫	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
子宮体癌	2	2	6	6	6	4	3	1	1	3	4	5
子宮頸癌	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	2
卵巣癌	18	17	21	21	24	23	17	15	13	11	8	5
腹膜癌	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
膀胱癌	0	1	2	1	2	1	1	2	1	3	4	2
前立腺癌	1	1	1	2	2	1	1	2	3	4	4	6
原発不明癌	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1
固形癌その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
悪性リンパ腫	8	9	10	11	13	15	12	17	11	15	18	22
多発性骨髄腫	16	17	22	25	18	11	19	19	19	21	26	24
血液腫瘍その他	4	4	4	3	5	4	11	6	8	8	14	14
リウマチ	44	47	42	47	50	44	47	48	47	40	47	42
クローン病など	1	3	1	4	2	3	2	3	2	4	2	5
合計	188	192	205	215	224	203	223	221	217	223	243	240